

## 令和4年度第1回輸送最低賃金専門部会（議事要旨）

1 日 時 令和4年9月21日（水） 10時28分～11時13分

2 場 所 山口地方合同庁舎2号館2階会議室

3 出席者 公益代表委員 3名  
労働者代表委員 3名  
使用者代表委員 3名

### 4 議 題

- (1) 部会長、部会長代理の選任について
- (2) 特定最低賃金について
- (3) 金額審議について
- (4) その他

### 5 議事要旨

- (1) 部会長に通山委員、部会長代理に赤穴委員が選出された。
- (2) 事務局から、特定最低賃金制度の概要の説明を行った。
- (3) 労働者側から以下のとおり主張がされた。
  - ・「特定（産業別）最低賃金は関係労使のイニシアティブにより設定する」という2008年の最低賃金法改正の趣旨からも、個別労使の交渉の結果として締結された企業内最低賃金はより尊重されるべきであり、山口県の輸送企業内最低賃金協定の985円を踏まえた特定（産業別）最低賃金の引上げは必要不可欠である。
  - ・近隣県との格差や山口県における労働市場の実態に加え、輸送における仕事の内容・生み出す付加価値の高さ、輸送を担う人材の確保の観点から絶対額を重視した水準引き上げが必要である。
  - ・周辺の広島県や福岡県との格差是正は改善されてきたものの、岡山県との格差是正はまだあり、Cランクの相場を横にらみし、相応の水準を維持できるような引上げが必要である。
- (4) 使用者側から以下のとおり主張がされた。
  - ・一定の引上げが必要であることは理解している。

- ・日本銀行の9月13日に発表された8月の県内企業物価指数は115.1で、前年同月比9.0%の上昇であり、18か月連続で前年を上回っている。
  - ・充分、価格に転嫁しきれていない状況により、収益が圧迫されている企業もあることから、慎重な審議をお願いしたい。
  - ・造船業界を取り巻く環境は、鋼材をはじめ資機材の急激な値上げなど、先行き不透明な難しい状況が続いている。
  - ・造船業界存続のためにも、コスト低減の絡みもあるが、人材の確保は重要な課題であり、将来を見据えた慎重な審議をしていきたい。
- (5) 事務局から、今後の審議日程について説明を行った。

(注) 輸送最低賃金専門部会の正式名称は「山口地方最低賃金審議会 山口県輸送用機械器具製造業最低賃金専門部会」である。